

群馬県文化振興基金の活用状況について（H24実績及びH25予定）

I 平成24年度実績

1 基金の収支について

群馬県文化振興基金は、平成24年4月に既存の3つの文化関係基金（国民文化祭・地域創造基金、群馬県芸術文化振興基金、群馬県美術品等取得基金）を統合し、一体的・総合的に活用できるよう、新たに設置された基金である。

平成24年度は、継続事業の他、群馬県文化基本条例の周知や、群馬県文化振興指針の策定に向けた取り組みを重点的に行い、29,041千円を取り崩した。

(円)

区 分	平成24年度実績
基金創設	590,208,000
収 入	6,757,380
利息収入	3,721,680
事業収入	3,035,700
寄附	0
その他	0
支 出	29,041,615
(1) 映画・映像文化振興	362,445
(2) 伝統文化継承事業	10,676,713
(3) 文化づくり環境創造事業	8,381,304
(4) 文化づくりコーディネーター事業	1,043,020
(5) 東国文化支援事業	6,067,758
(6) はじめての文化体験事業	685,375
(7) 教育・芸術文化団体助成	1,825,000
基金増減額 (H24 収入－H24 支出)	△22,284,235
基金残額 (H25.5.31 現在 H24 事業清算後)	567,923,765

2 基金の運用状況について

(円)

区 分	運用期間	積立額	利子収入
譲渡性預金	H24.4.2～H24.11.30	50,000,000	11,602
譲渡性預金	H24.11.30～H25.3.29	47,445,687	5,105
譲渡性預金	H24.4.2～H25.3.29	240,208,000	95,030
債券運用	H24.4.2～H25.3.29	300,000,000	3,609,943
平成24年度 利子収入合計			3,721,680

* 譲渡性預金…銀行の定期預金のひとつ。満期まで解約できない。

* 債券運用 …国債や地方債を購入する運用方法。満期まで解約できない。

3 基金活用事業について

(1) 映画・映像文化振興

地域における多様な映画を上映・鑑賞する機会を提供することで、映画の文化的価値を再認識するきっかけをつくること、また、地域で芽生えた映画・映像への取り組みを地域づくり・地域活性化につなげていくことを目的に平成20年度から「地域における映画上映推進事業」を実施してきた。

平成24年度からは、県民に芸術性の高い映画等の上映・鑑賞機会を提供するためNPO法人をはじめ県民と協働し事業を実施する方法に見直した。

① ぐんま学生映像まつり2013

県内の学生の映画・映像振興を目的として、新作映画及び映像を上映し、専門家による批評及び対談を行った。

- ・日 程：平成25年3月20日（水・祝）
- ・会 場：群馬会館ホール
- ・入場者：110人

② 群馬ドキュメンタリー映画祭

群馬ドキュメンタリー映画祭実行委員会主催事業の共催。社会情勢を反映した最新のドキュメンタリー映画12作品を上映した。

- ・日 程：平成25年3月8日（金）～18日（月）
- ・会 場：シネマまえばし
- ・入場者：1,620人

(2) 伝統文化継承事業

地域の伝統・文化・風習を復活させることで、人と人との絆をしっかりと保ち、安全・安心な社会が形成され、豊かな郷土づくりにつなげることを目的に実施した。

① 群馬のふるさと伝統文化補助金

地域の伝統・文化・風習を復活させ、人と人との絆を深め、安心な地域社会を再生するため、県内各地域で伝統文化を守り、伝え、育てていこうとする継承活動に対し、補助金を交付した。

- ・申請件数 53件
- ・交付決定件数 43件（申請のうち不採択6件、取り下げ4件）

（内訳）

伝統文化映像記録事業	2件
伝承者育成事業	4件
伝統文化継承活動事業	26件
こども伝統文化継承事業	9件
地域伝統文化サポーター事業	2件

② 伝統文化継承コーディネート事業（委託）

（公財）群馬県教育文化事業団に委託し、専門知識・人脈を活かした具体的支援を実施した。

<委託内容>

- ・「群馬地域文化マップ」の運営
マップデータの更新及び、市町村への紙面調査の実施。
- ・ぐんま伝統文化継承委員会の開催
伝統文化が継承されるための支援や方向性を専門的見地から検討し、調査・モデル事業の内容や実施方法等を設定した。
- ・ぐんまの伝統文化調査の追跡・補完
平成20年度に実施した県内市町村の伝統文化実態調査の5年後の追加調査を行った。
- ・伝統文化継承モデル事業の実施
調査結果を踏まえ、篠笛の後継者育成事業、学校教育との連携事業、伝統文化の映像上映事業を行った。
- ・伝統芸能祭りの開催
他産業と連携し、伝統芸能の発表会やパネルディスカッション等を実施した。

（3）文化づくり環境創造事業 *H24終了

「群馬県文化基本条例」の制定に合わせ、条例制定の周知事業、寄附周知に係る事業を行うことにより、企業や県民一人ひとりが文化の担い手であることを実感でき、文化活動が自主・自立・持続となるような環境づくりを推進した。

① 群馬県文化基本条例制定記念シンポジウム

群馬県文化基本条例の制定を県民に周知するため、記念シンポジウムを開催した。内容は事例発表、基調講演及びパネルディスカッションの3部構成で行った。

- ・日 程：平成25年3月15日（金）
- ・会 場：群馬会館ホール
- ・入場者：400人
- ・内 容：○基調講演

「文化の限りない可能性～世界の中の日本、そして群馬～」

講演者 福田康夫氏（元首相）

○パネルディスカッション

テーマ「文化の限りない可能性」

パネラー 福田康夫氏（元首相）

下平克宏氏（シテ方観世流準職分）

樽井 哲氏（群馬県文化審議会会長）

中嶋彰子氏（ソプラノ歌手）

コーディネーター

藤井 浩氏（上毛新聞社論説委員長）

② 群馬県文化基本条例制定記念・群響スペシャルコンサート

群馬県文化基本条例の制定を記念して、全国に知名度のある指揮者と本県ゆかりのあるソリスト等による華やかなコンサートを開催した。コンサートのチケット収入は、全額を群馬県文化振興基金に積立て、県内における文化活動に役立てることとした。

- ・日 程：平成25年2月11日（月・祝）
- ・会 場：ベイシア文化ホール（大ホール）
- ・入場者：1,300人

③ 群馬県文化振興指針の製本委託

平成25年3月に策定された「群馬県文化振興指針」について、県内市町村及び文化団体等へ当該指針の周知を図るための冊子を制作した。

- ・部 数：300部
- ・配布先：文化審議会委員、県内市町村、46都道府県、市町村文化協会等

(4) 文化づくりコーディネーター *H24終了

平成25年度以降、群馬県文化振興指針に基づく施策を着実に実施していくために、その原動力となる人材を確保・育成する必要があるがあった。このため、平成24年度に、文化資源、情報に関する総合的な力を備え、ヒト・モノ・地域をつなぎ、県と連携して文化施策の推進にあたる人材の育成を図ることを目的に、「文化づくりコーディネーター養成講座」を開催した。

①講義1 文化について学びましょう

- ・日 程：平成24年9月28日（金）
- ・会 場：県庁ビジターセンター
- ・参加者：39名
- ・内 容：「文化づくりコーディネーター」について考えよう
講師 高崎経済大学准教授 友岡邦之
「音楽によるコミュニティの活性化について」
講師 NPO 法人トリトン・アーツ・ネットワーク 櫻井あゆみ

②講義2 トップランナーに聞く！～夢を実現するまでの軌跡～

- ・日 程：平成24年11月30日（金）
- ・会 場：県庁ビジターセンター
- ・参加者：26名
- ・内 容：「日本一”無名”な群馬の実力を知ろう」
講師 あさを社編集主幹 木部克彦
「映画によるまちづくり」
講師 NPO 法人たかさきコミュニティシネマ代表 志尾睦子

③実技 自分でやってみよう！（2コースから選択）

「イベントを企画しよう～100年後サミット～」コース

- ・日 程：平成24年10月4日（木）、15日（月）、25日（木）、26日（金）、
11月3日（土）、4日（日）〔延べ6日間〕
- ・参加者：受講者21名（出席者延べ人数77名）
- ・内 容：「100年後サミット」を一緒に作ろう
講師 中之条ビエンナーレ総合プロデューサー 山重徹夫

「文化を発信するためのスキルを磨こう」コース

- ・日 程：平成24年11月16日（金）、30日（金）、
12月14日（金）、
平成25年1月11日（金）、25日（金）〔延べ5日間〕
- ・参加者：受講者30名（出席者延べ人数76名）
- ・内 容：「ロゴデザインをしてみよう」
講師 Maniackers Design 代表 佐藤正幸

（5）東国文化支援事業

古代から東国文化の中心地として脈々と続いてきた歴史と文化を備えた、多彩な魅力に満ちた地域であることを県内外に周知した。

（5）－1 歴史文化遺産の再認識・環境整備

○東国文化副読本の制作委託

義務教育課、文化財保護課、歴史博物館の担当者による編集会議を設置し、学校現場で実際に活用されるものとして「東国文化副読本」を制作した。

- ・対 象：中学1年生
- ・部 数：25,000部 *印刷は国庫補助金
- ・配 布 先：各中学校

（5）－2 歴史文化遺産による観光振興・イメージアップ

① 群馬の歴史をつなぐ文化遺産の物語

（ア）周知イベント「岩宿ムラ収穫まつり」

豊富な歴史文化遺産で群馬の歴史を紹介していくことで、古代から現代へと繋がる群馬の物語（＝新たなぐんまブランド）の創出を目指すことを目的に開催した。（県民と地元市町村、県との協働モデル事業）

- ・日 程：平成24年11月11日（日）
- ・会 場：岩宿遺跡
- ・参加者：3,235人

(イ) イベント「観音塚八幡文化まつり」

観音塚古墳を中心に、地域の歴史を楽しく学ぶウォークラリー&スタンプラリー、まち自慢展を開催した。県の考えに賛同し、地域の歴史文化遺産を活用していこうとするイベントを支援したもの。

- ・日 程：平成24年10月28日（日）
- ・会 場：観音塚古墳
- ・参加者：200人

② 東国文化シンポジウムの開催

群馬県のイメージアップを図り、地域の活性化に繋げるため、「群馬が誇る歴史文化遺産を再発見」をテーマとしシンポジウムを開催した。

- ・日 程：平成25年2月24日（日）
- ・会 場：群馬会館ホール
- ・参加者：250人
- ・内 容：○基調講演

「歴史遺産とまちづくり」

講演者 毛利和男氏

(瀬戸内港町文化研究所、元NHK解説委員)

○パネルディスカッション

テーマ「東国文化の中心・群馬の再認識」

パネラー 木部克彦氏（あさを社編集主幹）

熊倉浩靖氏（県立女子大学教授）

見城美枝子氏（青森大学社会学部教授）

右島和男氏（群馬県文化財保護審議会委員）

毛利和男氏（基調講演者）

コーディネーター

藤井 浩氏（上毛新聞社論説委員長）

③ 「群馬の歴史文化遺産」を巡るモデルツアー

群馬県が全国に誇る数多くの歴史文化遺産を、県内外多くの方々に知ってもらい、観光振興につなげていくため、(財)県観光物産国際協会と協力して解説付きの日帰りバスツアーを実施した。

- ・参加者：134人（うち県外参加者4人）
- ・日 程：「古墳大国をゆく」東毛・中毛コース
平成25年3月8日（金）
「古墳大国をゆく」西毛コース
平成25年3月14日（木）、16日（土）
「埴輪に首ったけ」コース
平成25年3月15日（金）、20日（水・祝）
「東山道の今と昔をゆく」コース
平成25年3月16日（土）、17日（日）
「シルクロード最果ての地を求めて」コース
平成25年3月16日（土）、24日（日）

(6) はじめての文化体験事業

優れた文化芸術活動を行っている県内のアマチュア文化団体を「有償ボランティア」として学校等に派遣し、当該アマチュア団体が策定したプログラムに基づき、子ども向けの公演、講話、実技披露、ワークショップ等を行った。

＜平成24年度事業実績＞

登録団体数：20団体

派遣団体数：20団体（実12団体）

ギター演奏、手品の実演・体験、バルーンアート、朗読劇、紙芝居等

派遣箇所数：20箇所

幼稚園、保育園、小学校、児童館等

参加人数：1,803人

(7) 教育・芸術文化団体助成

① 県展山崎種二記念特別賞

群馬県の芸術振興・奨励を図ることを目的に、県展三部門（美術・書道・写真）に山崎種二記念特別賞を設定し、賞を授与している。受賞作品は広く県民に紹介している。

・受賞者：87名（美術部門29名、書道部門29名、写真部門29名）

② 芸術文化団体補助金

群馬県文化協会連合会は、地域文化フェスティバル、研究集会、先進地視察、事業の共催・後援、会員への情報提供などを行う団体である。群馬県の文化の振興に大きく貢献していることから、補助金を交付した。

Ⅱ 平成25年度実施予定

1 基金の収支について

平成25年度は、文化振興指針の重点施策を推進し、課題として取り組むべき事業に基金を活用する。

(円)

区 分	平成25年度見込み
前年度繰越金	567,923,765
収 入	4,325,596
利息収入	4,325,596
事業収入	0
寄附	0
その他	0
支 出	29,198,000
(1) 映画・映像文化振興	535,000
(2) 伝統文化継承事業	10,100,000
(3) 文化づくり支援事業	10,000,000
(4) 東国文化支援事業	3,900,000
(5) 歴史博物館巡回展	1,692,000
(6) はじめての文化体験事業	1,000,000
(7) 教育・芸術文化団体助成	1,971,000
基金増減額 (H25収入－H25支出)	△24,872,404
基金残額 (H26.5.31現在 H25事業清算後)	543,051,361

2 基金の運用状況について

(円)

区 分	運用期間	積立額	利子収入
譲渡性預金	H25.3.29～H25.5.31	65,585,735	3,509
スーパー定期	H25.5.31～H25.11.30	47,719,274	5,948
スーパー定期	H25.11.30～H26.3.31	42,000,000	3,509
譲渡性預金	H25.3.29～H26.3.31	120,208,000	42,302
債券運用	H25.4.1～H26.3.31	400,000,000	4,270,328
平成25年度 利子収入合計			4,325,596

* 譲渡性預金…銀行の定期預金のひとつ。満期まで解約できない。

* スーパー定期…銀行の定期預金のひとつ。途中解約が可能。

* 債券運用…国債や地方債を購入する運用方法。満期まで解約できない。

3 基金活用事業について

(1) 映画・映像文化振興（継続事業）	予算額	535千円
・実行委員会を立ち上げ、上映機会の少ない優れた作品を紹介		
(2) 伝統文化継承事業（継続事業）	予算額	10,100千円
・県内各地に伝わる伝統芸能や祭り等を継承する事業を支援		
(3) 文化づくり支援事業（新規事業）	予算額	10,000千円
・文化力向上への補助（4,500千円）		
・次世代育成事業への補助（1,000千円）		
・文化資産発掘・活用事業等への補助（4,500千円）		
(4) 東国文化周知事業（継続事業）	予算額	3,900千円
・歴史文化遺産を巡るモデルツアー、東国文化周知イベント等の開催		
(5) 歴史博物館巡回展	予算額	1,692千円
・歴史博物館収蔵資料の巡回展の実施 *国庫補助に変更		
(6) はじめての文化体験事業（継続事業）	予算額	1,000千円
・はじめての文化体験事業（1,000千円）		
(7) 教育・芸術文化団体助成（継続事業）	予算額	1,971千円
・県展山種記念特別賞（賞金1,400千円+事業費146千円）		
・県文化協会連合会への助成（425千円）		

4 新規事業について

【新規】文化づくり支援事業

群馬県文化振興指針の重点施策を、長期的な展望をもって、総合的かつ効果的に推進するため、平成25年度に「群馬の文化」支援事業を創設する。事業では、「群馬の文化」の形成につながる地域での多様で創造性豊かな文化活動に対して、財政的、人的支援を行う予定である。